

### 先進地教育の実態と 高島市の教育について



石田 哲 議員

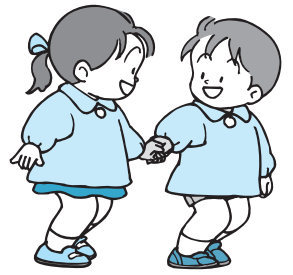
**問** ①子供に対する殺人事件は「人間の心」を持たない屈辱的な事件です。長浜での事件は多くの事実を教えてくれました。隣組み連帯感の希薄化、自分中心主義、感情の抑制が出来ない性格、負け組み意識の過剰など結果から見れば答えは簡単です。然し未然に防ぐ事の難しさも学びました。政府の「犯罪対策閣僚会議」が決めた緊急対策六項目の高島市における実態を問う。

**答** ③乳幼児から中学校迄を一貫して教育委員会に主導権を位置付け、家庭教育の重要性を表明されたが、具体的な各論を問う。

#### 高島市の教育

安心・安全については、子ども自身が「自分を守る」という意識と自分を守る力」をつけることと、地域ぐるみの安全確保体制をつくり活動を展開することが大切です。

群馬県太田市では、国語・算数・数学・英語で20人以下の学習集団での授業を基本に、複数教員による指導を組み合わせて指導の充実を図っています。本市でも、学ぶこと生き



ることの基礎を育む「日々の授業と学校生活」の充実を図るため、市費講師の派遣や教職員研修の充実に取り組みんでいます。

保幼・小・中一貫した教育方針を持ち、教職員研修や家庭教育の充実を図ります。特に幼児教育の充実に取り組みます。

#### その他の質問

◆指定管理者制度とその運用形態について

①現在の認定農業者、集落営農の数と農地の利用集積状況

②品目横断的経営安定対策における米他4品目以外の作物が対象になる対策は

③19年産米からの生産調整に対する市の関わりは

④病害虫防除事業が皆

守る農村環境保全対策へ衣替えされた理由は。また、従来同様の作業でも助成されるか

**答** 産業経済部長

①認定農業者は、113経営体です。集落営農は47集落で行われています。農地利用集積状況は約千畝で農地面積に対する設定率は約22%です。

②米政策改革推進対策として産地づくり対策の継続、担い手以外の生産者に対しての米価下落の影響緩和対策、集荷円滑化対策が継続されます。

③行政ルートに



高島市で生産される水稻の収穫

#### その他の質問

◆高島市の防災対策について

④農業の持続的発展と多面的機能の確保には、人と自然が共に生きる農村を守り、農業が有する自然循環機能を維持・増進させることが必要です。防除は集落の共同作業に対して助成します。

よる生産目標数量の配分はなくなりますが、情報の提供や地域水田農業推進協議会での具体的な調整に参画していきます。

### 農林業の 振興策について



橋本 恒夫 議員

**問** 平成19年度から始まる

一、品目横断的経営安定対策  
二、米政策改革推進対策  
三、農地、水、環境保全向上対策

について、各集落では周知徹底と担い手の育成、特定農業者団体の組織化に向けて集落座談会等を開催しているが、市の対応について問う。

で守る農村環境保全対策へ衣替えされた理由は。また、従来同様の作業でも助成されるか

**答** 産業経済部長

①認定農業者は、113経営体です。集落営農は47集落で行われています。農地利用集積状況は約千畝で農地面積に対する設定率は約22%です。

②米政策改革推進対策として産地づくり対策の継続、担い手以外の生産者に対しての米価下落の影響緩和対策、集荷円滑化対策が継続されます。

③行政ルートに

### 滋賀県東北部 工業技術センター高島支所の 廃止問題について



梅村 彦一 議員

**問** この施設が長浜本所に移管、または廃止されるといことは本当なのか。もし本当だとすれば何故長浜なのか。県下の繊維事業所は高島市に集積されている。この施設は地場産業にとって命綱とも言われている。廃止となれば産地全体のダメージは計り知れない。公的機関がなくなることは製品開発の遅れだけでなくユーザーの信頼を大きく損なうことになる。ようやく暗いトンネルの奥にかすかな明かりが見えてきた今、行政自らが水をさす行動は如何なものか。県は9千億円の借金を盾に、産地事業者がどうしても必要とされている小さな施設にも手を

出す姑息な取り組みはどうしても理解できないが当局の考えは。

**答** 産業経済部長

滋賀県東北部工業技術センターは、繊維業界にとって大変頼りになる機関です。センターは、長浜を本所に高島と能登川に支所があります。県の行財政改革の一環として再編される事になったと聞いています。昨年11月に県担当課から地元業界に対し懇談会をもちたいとの意向で、協議の場が設けられました。そこで県の方針が伝

えられ、業界からは、支所の廃止は困る、是非残してほしいとの意見が表明されたと聞いています。市も、今まで業界関係者と数回懇談会を持ちました。現在、地元業界が県への要望事項を取りまとめ中です。市は、地元業界の要望事項を受けて、その意向に沿って対応してまいります。

### 今、市民の胸中は (公立高島総合病院)



大森 六己 議員

**問** 合併前から湖西広域連合議会が課題となっていた高島総合病院建設問題は市民も大きな関心を寄せている。合併して早や1年と3ヶ月が経過しているが病院建設工事については一向に進展しない状況である。

**答** 健康福祉部長

病院の建設問題は、「地域医療整備検討委員会」で、地域中核病院として二次医療や災害時に機能が維持対応できる機器整備と建物、時代に適応した診療機能の充実した病院の早期建替えを希望されるものであります。しかし、経営の現状は累積赤字の年々増加に

◆今、市民の胸中は (地震防災)

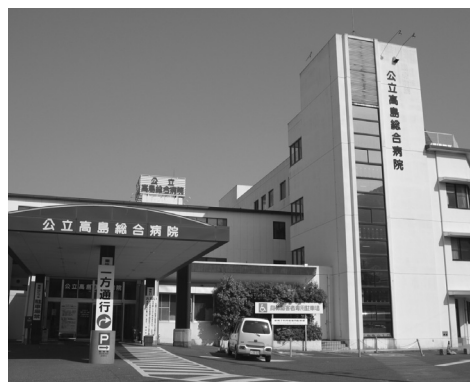
◆高島市の防災対策について

加え、医療制度改革による診療報酬の減額改訂の影響を推察したとき、現体制での経営には危機的な不安が生じることから、専門性のある第三者の導入や職員の意識改革などにより経営改善に取り組む、市民の期待に応える病院の再生に努めてまいります。また、市民が安心して出産できる産科の存続のため、医師確保に全力で取り組んでおります。



滋賀県東北部工業技術センター高島支所

昨年医師の確保が困難となり診療の縮小へと追い込まれ患者も減少し経営も一段と厳しくなってきた。本年4月より産婦人科医師の確保が困難となり、継続が危ぶまれている。市民にとって大きな問題となってくると思われる。今の状態で維持していけるのか非常に危惧する。市民の心配事を1つでも明確にするべきではないか。



公立高島総合病院